



「調布女子会 のまま」は、ひきこもりや対人関係の難しさなど、生きづらさを抱える女性自認の方を対象に対話、交流する場です。この度、一般社団法人ひきこもりUX会議協力のもと、「ひきこもり女子会」を調布で開催いたします。

話を聞くこと、そして話すことで、心がふっと軽くなり、あり“のまま”が受け止められる場を作りたいと思っています。

2025年 **3月21日** [金]
14:00-16:30
調布市総合福祉センター
(調布市小島町2-47-1)

定員
50名

参加費
無料

申込
不要

詳細は裏面をご覧ください

主催：調布女子会 のまま
協力：調布市社会福祉協議会
運営：一般社団法人ひきこもりUX会議

2025年 **3月21日** [金]
14:00-16:30(開場13:40)

定員
50名

参加費
無料

申込
不要

TIME
SCHEDULE

14:00-14:45 第1部 ひきこもり経験者の体験談
14:50頃-16:30 第2部 テーマトーク

対象

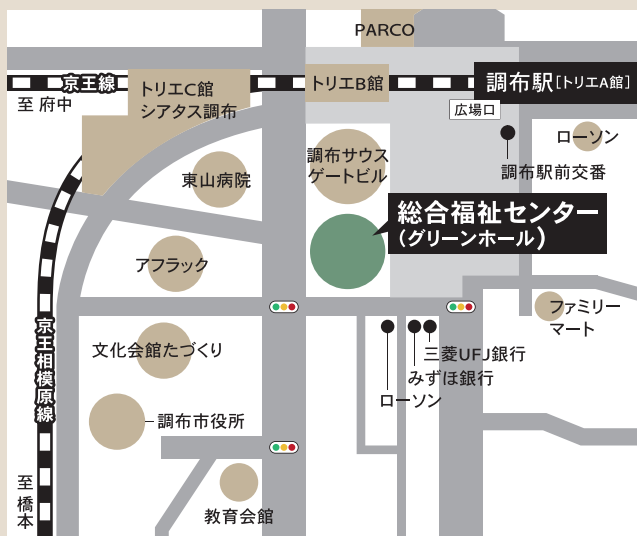
ひきこもり状態にあったり、対人関係の難しさを感じている、孤独・孤立を感じているなどの生きづらさを抱える女性。年齢不問。

※途中入退室可

※第1部は、女性自認の方であれば当事者・経験者ではない方もご参加いただけます。ご家族や支援者の立場の方でも、ひきこもりや生きづらさを抱える当事者・経験者で女性自認の方であれば第2部にもご参加いただけますが、その場合はあくまで“当事者”としての参加とし、ご家族や支援者としての立場での発言はお控えください。

会場

調布市総合福祉センター
2階 201~203会議室
調布市小島町2-47-1



ACCESS 京王線「調布駅」より徒歩3分

主催団体について

調布女子会 のまま
<https://chofu-nomama.net/home>



運営団体・当日運営スタッフについて

ひきこもり
UX会議

一般社団法人ひきこもりUX会議

ひきこもりや不登校、発達障害、性的マイノリティの経験・当事者が立ち上げた団体。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信をしている。



恩田 夏絵

ひきこもりUX会議代表理事

小学2年から不登校に。その後、ひきこもり、リストカットなどを経て定時制高校を卒業。2010年、洋上フリースクール『ピースポート・グローバルスクール』を開校。



林 恭子

ひきこもりUX会議代表理事

高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。2012年から「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。



すみれ

ひきこもりUX女子会スタッフ

24歳の時に環境の変化の積み重ねにより、断続的に約5年程ひきこもる。現在はひきこもりの当事者会など、居場所作りをしながら、どうすればこの生きづらさが減るのか、日々模索中。

お問合せはコチラから

調布市社会福祉協議会 地域支援係



042-481-7693 [月～金/9:00-17:00]